

2011特別見学ツアー一報告書

[高山寺本堂]

山門(仁王門)









江戸時代に興山寺から高山寺に寺号が改められたという















振り返るとこんな景色

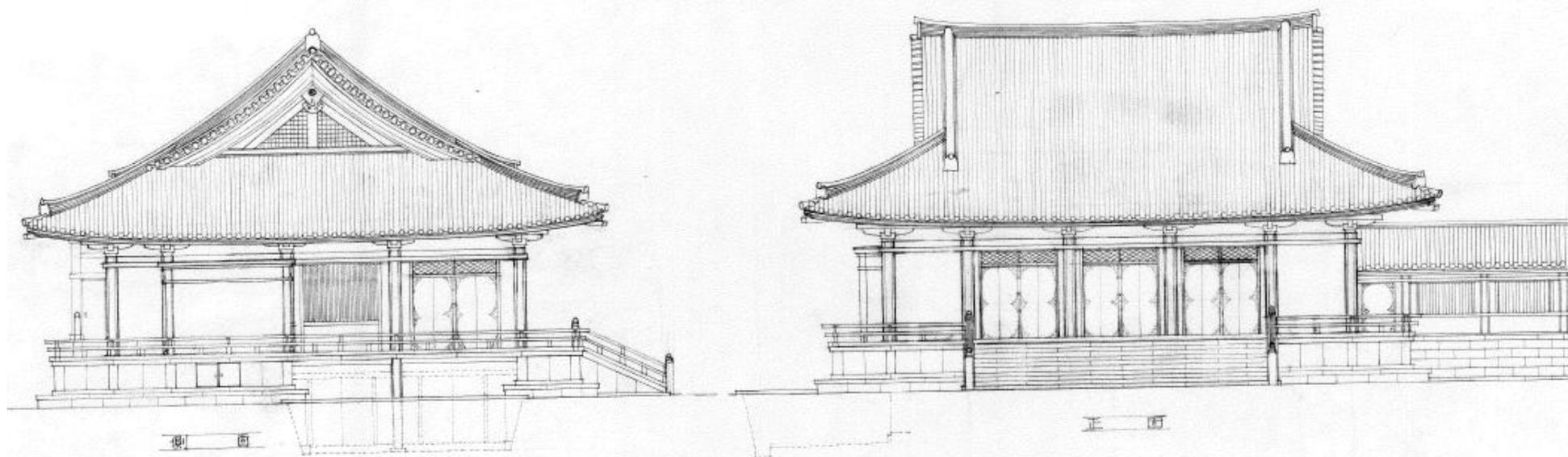


本堂

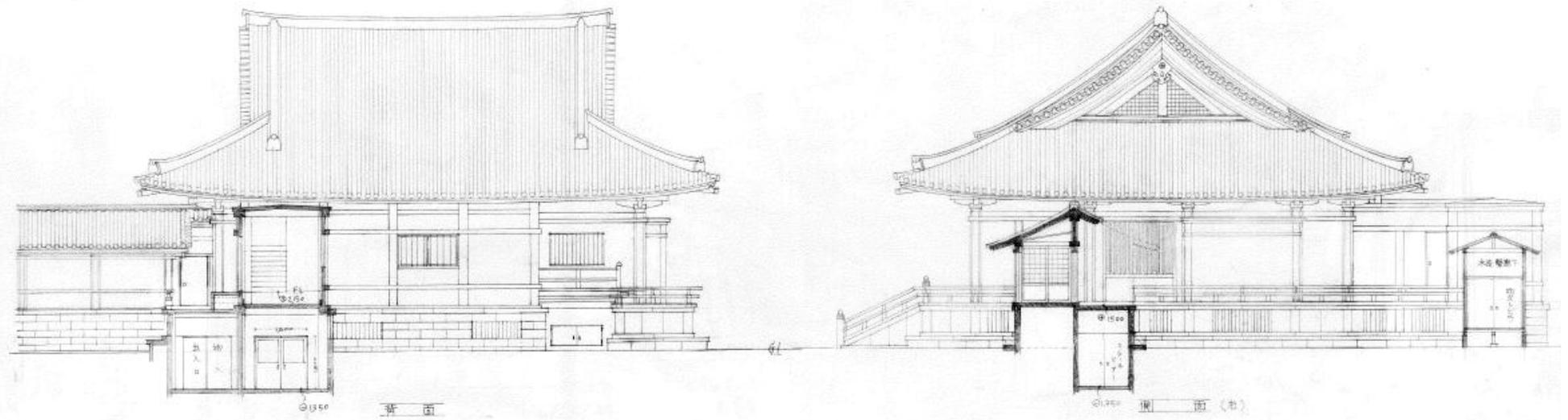




側面図と正面図



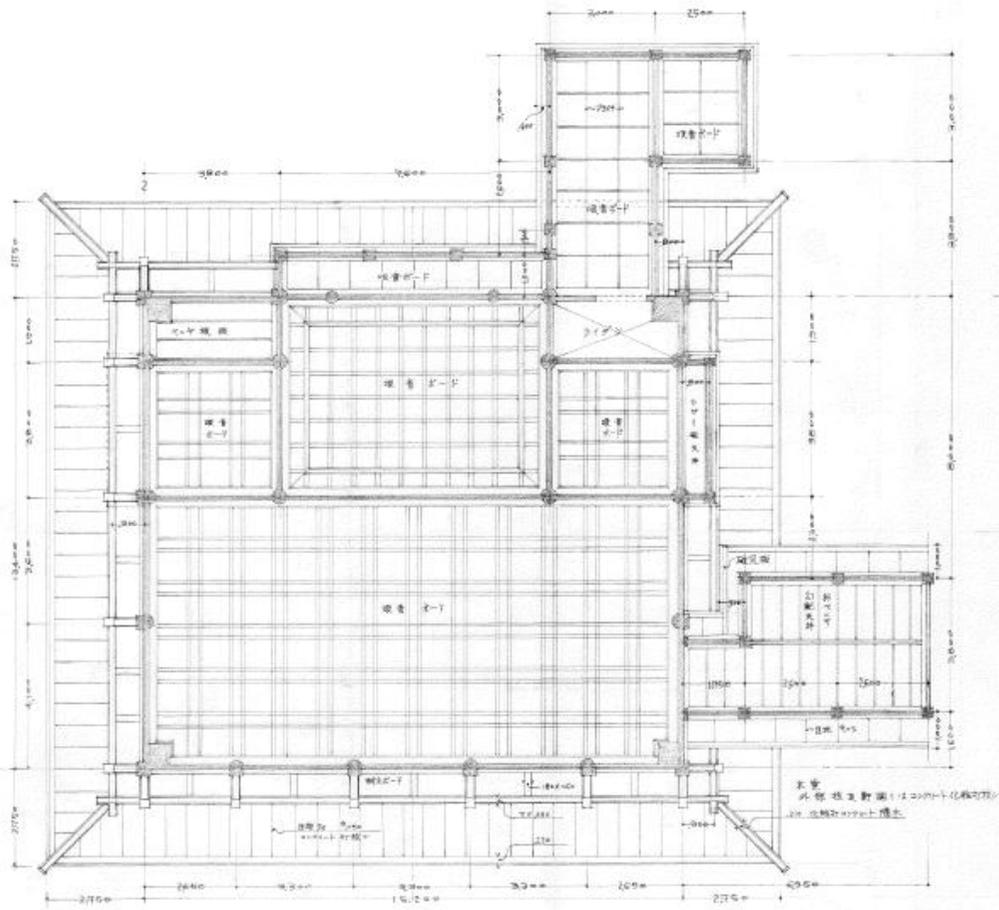
背面図及び庫裡側側面図



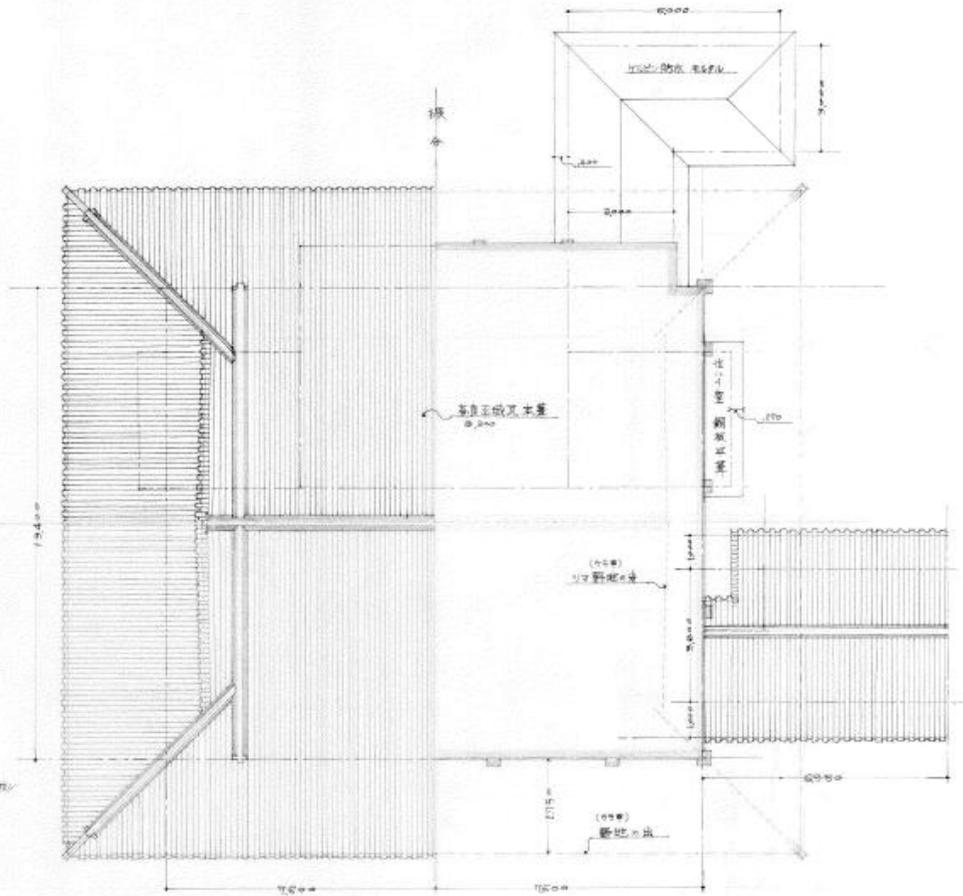




天井軒裏見上げ図及び屋根伏図



天井軒裏見上げ図
S. 1:100

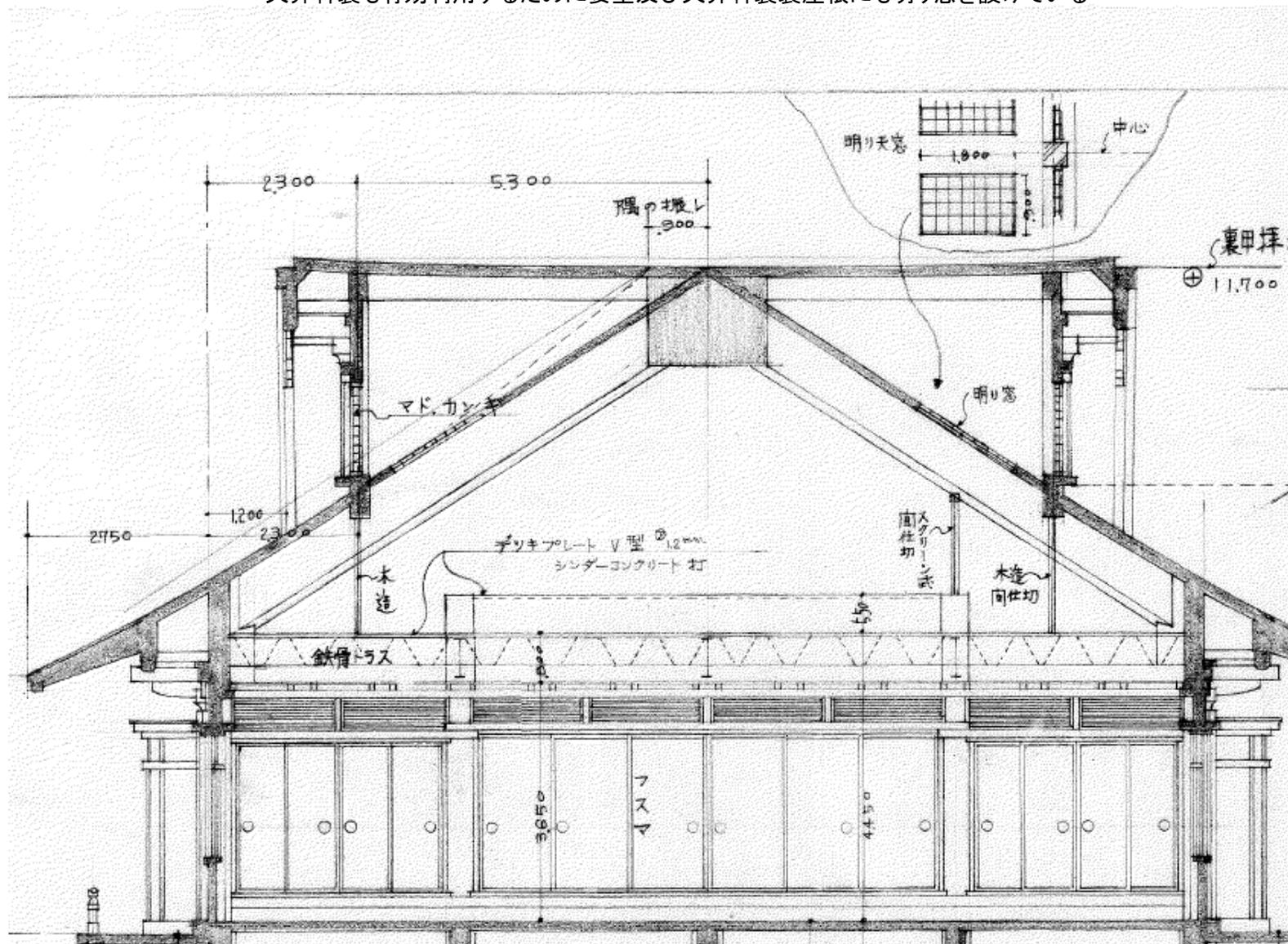


屋根伏図
S. 1:100





天井軒裏も有効利用するために妻壁及び天井軒裏裏屋根にも明り窓を設けている







垂木は省略されている



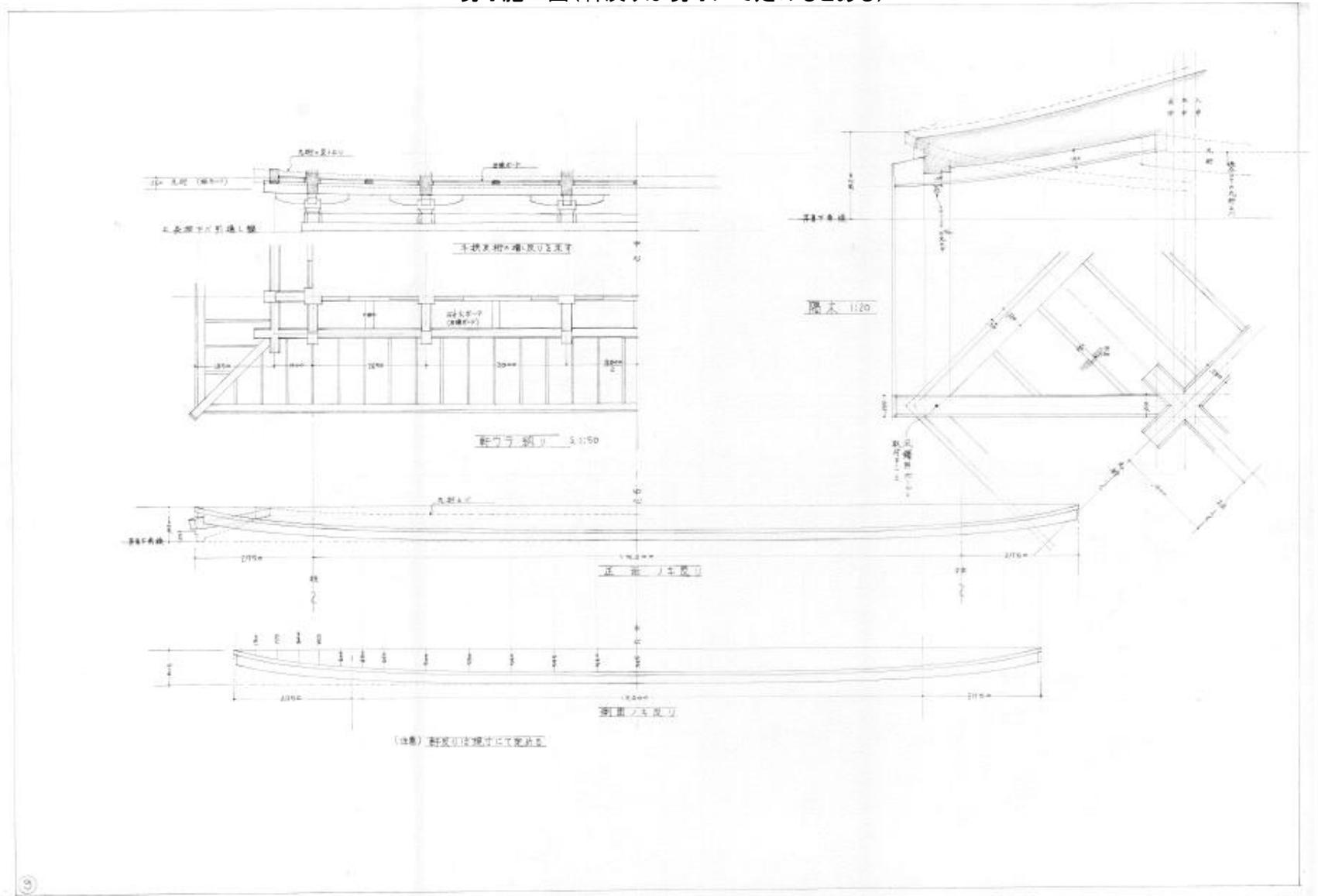


こちらの妻壁は塞がれてしまっているようだ

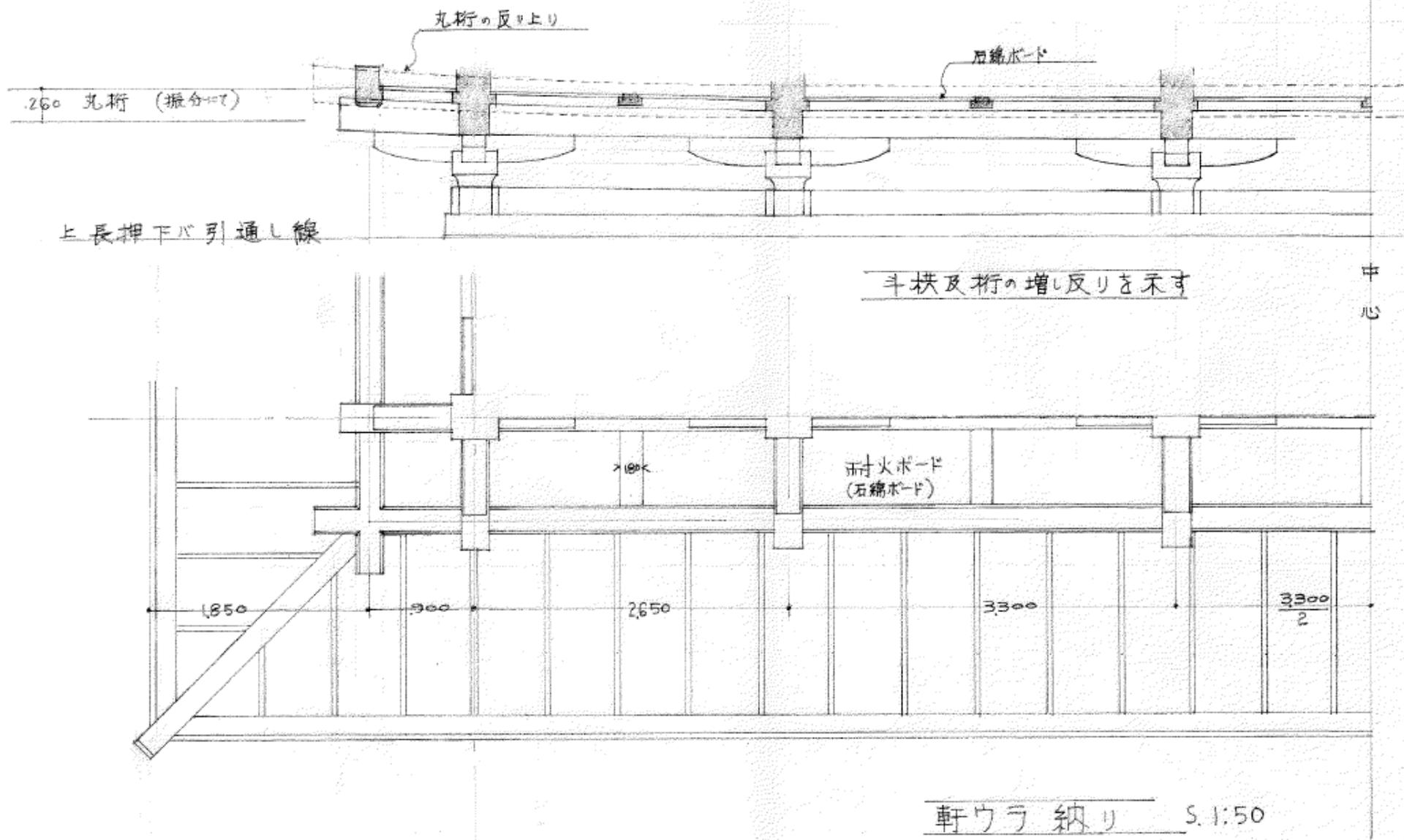




現寸施工図(軒反りは現寸にて定めるとある)



隅の伸びに関連して、軒の反りと軸部上部のわずかな反りの間を調節するため、斗拱の積上高をほんの少しずつ隅にゆくに従って高くする手法を使っている









裏手もきっちりまとめられている



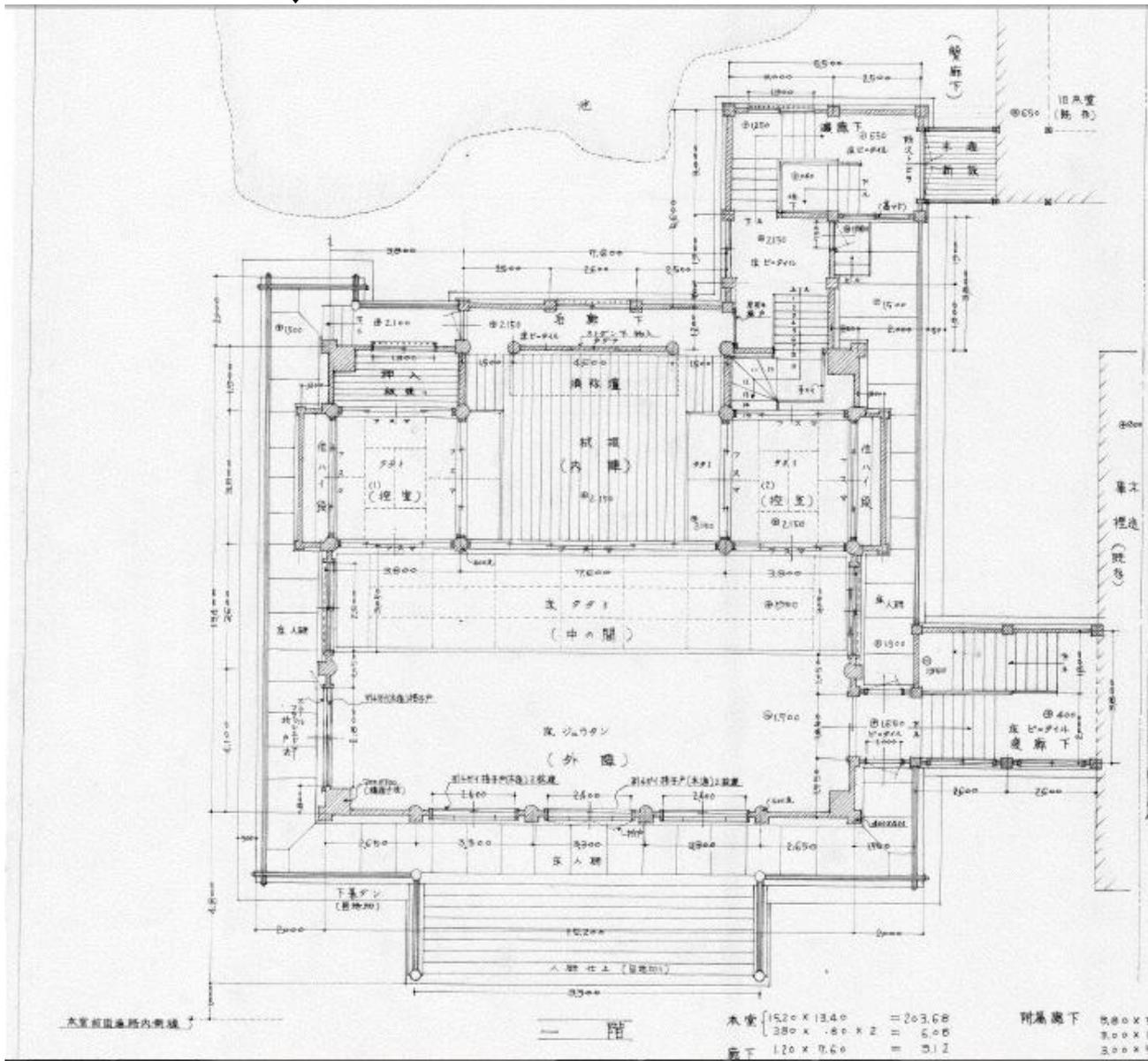








位牌壇部分











大斗肘木形式となっている



大岡作品の特徴である挿肘木形式は、昭和40年の時点では、東江寺本堂(昭和38年)における過渡期と思われる形のものはあるが本格的な挿肘木の作品としては昭和42年の眞光寺本堂を待つこととなる









位牌壇部分が飛び出しているが天端は金属板で葺いている





軒裏換氣孔











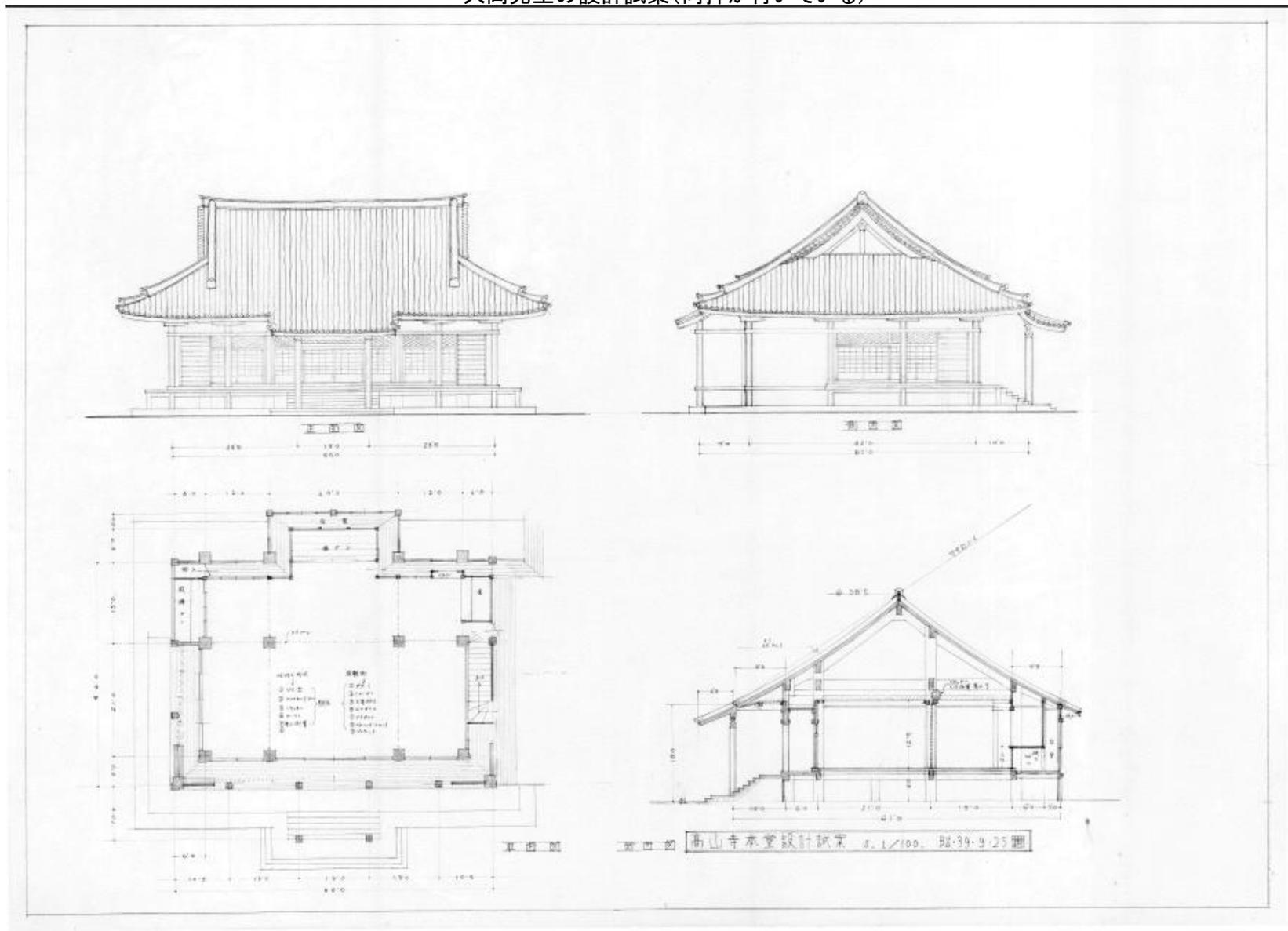
庫裡との渡廊部分(庫裡は当時木造であったようで、渡廊とも同時期に実施しており、その後庫裡は現在のRC造に建て替えられたもよう)



豕(いのこ)又首形式の裏壁部分にスチール組格子越しの明り窓ガラスが見える



大岡先生の設計試案(向拝が付いている)



年月	西暦	工事名	所在地	工事期間	助手	構造設計	施工	構造種別
昭和40.12	1965	高山寺 本堂	和歌山県 田辺市	昭和40.12~41	松浦弘二	松本曄	大庫建設	RC造



インターネットより